

日本に押し寄せる  
外国人旅行者!!



日本各地の観光スポットで外国人を多く見かけ、テレビ・新聞でも大きく報道されています。

年別の訪日外国人数は、平成29年は約2,870万人で、平成19年は約835万人でしたので、ここ10年間で約3.4倍に急増しています。

今月号と来月号は、観光振興について、2回に分けて取り上げます。私たちは、古からの地域の宝ともいえる豊かな自然と伝統文化、そして先人達が守り育ててきた観光資源を未来へ引き継ぐ責務があります。

市町村や観光業界の斬新



冬の白鳥

新潟県は、グラフで示すとおり、前年比で4.3%の最低の増加率で、隣県に大きく遅れを取り、全国38位と低調です。

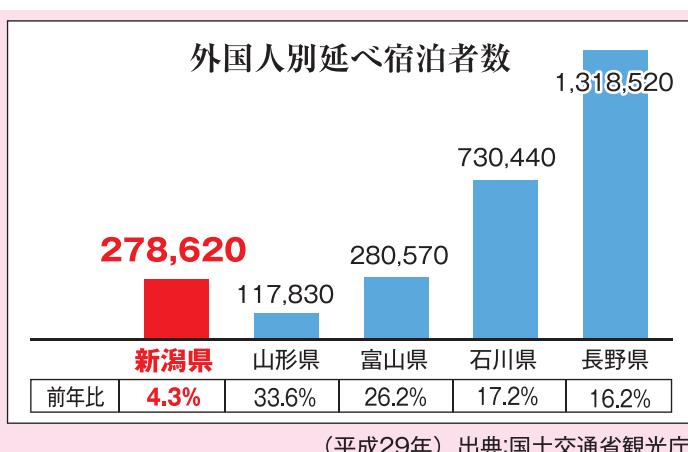
まだ、新潟県の魅力を発信する力が弱く、あまり外国人に知られていなか、雪国という特性を持つ新潟県には、他にも山、海、農業、酒など、まだまだ外国人を引き寄せられるだけの資源はあるよう

な気がしてなりません。

外国人旅行者は、地域活性化の起爆剤として脚光を浴びていますが、この流れがいつまで続くのか、東京や大阪、京都などの都市圏などに集中している感は否めませんが、地方における外国人向け観光の在り方が問われているようです。

## 隣県に比べ 「新潟県」低調!!

なアイデアも必要ですが、県としての外国人向けの観光戦略の構築が求められており、6月10日に新知事が誕生したこともある、その手腕に期待し、私は、県と阿賀野市のパイプ役を果たしたいと考えています。

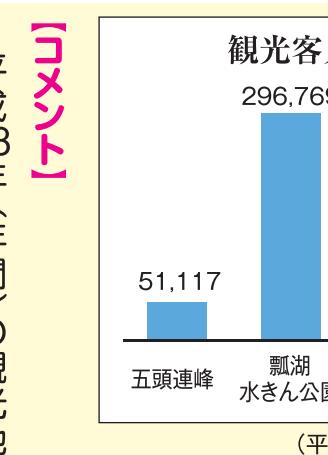


## 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!



うららの森情報発信館・体験学習館  
ふれあい村杉即売所

平成28年(年間)の観光地別の観光客入込数は、瓢湖の森、サンピアワールド、村杉温泉などと続いている。特に、五頭温泉郷は、平成22年から3回連続、今年は2年ぶりに新潟県の観光地満足度調査で総合満足度1位を受賞、平成28年には国民保養温泉地に登録され、観光客の増加が期待されています。



阿賀野市の  
観光客動態!!



サンピアワールド

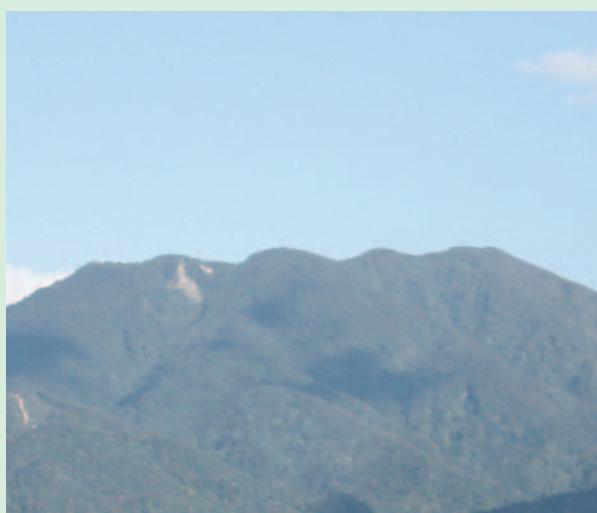
## 阿賀野市の「観光振興プラン」とは!!

阿賀野市の観光資源として、日本有数の五頭温泉郷とラムサール条約登録湿地の瓢湖が有名です。市では、阿賀野市総合計画の中、「自然と歴史・文化が織りなす観光のまち」を推進するため、阿賀野市観光振興計画（観光戦略プラン）を平成20年度から平成25年度までの5年間を推進期間として策定しています。

その後、平成28年3月に策定した「阿賀野市総合計画（2016

～2024年）の分野別計画の中で地域経済の活性化の一つとして観光振興についての基本方針が定められています。

現在、観光戦略プランは存在



しておりませんが、このプランで示された観光資源を市民の皆様にご紹介し、市の観光振興の一助になればとの思いで編集いたしました。

## 市民の声

### 「五頭温泉郷活性化に向けて」

五頭温泉郷旅館協同組合  
理事長 荒木 善紀

開湯1200年の歴史と日本有数のラジウム温泉である五頭温泉郷は本年も第6回新潟県顧客満足度調査において第一位に選ばれました。また平成28年5月には環境大臣指定の「国民保養温泉地」の認定を受けています。ラジウム温泉を中心とした豊富な地域資源（自然環境・歴史・伝統・文化・食材）に恵まれています。

今後の展開としては、環境省が推進する「新・湯治」に参画し、マーケットに指示される健



阿賀野市は、個性豊かな4か町村が平成16年4月1日に合併し、地域の宝である肥沃な大地に育まれた人々の心の豊かさや自然と歴史、文化に恵まれています。

市の代表的な観光資源は、日本有数のラジウム含有量を誇る村杉温泉に、県内最古の出湯温泉や今板温泉の三温泉からなる五頭温泉郷と白鳥を主とした20種類以上の水鳥が飛来する瓢湖です。

さらに市民のふれあいの場ともなっている六斎市、県政発祥の地越後府天朝山公園、水原代官所、越後七不思議の孝順寺や梅

康・保養プログラムの研究開発を行い、プロデュースによりブランド化を構築しダイレクトな情報発信を継続し、マーケットに存在価値の浸透を図っています。またより、行政・新潟県・国や関連機関等との連携の強化が最も重要課題です。

そのほか、水原まつり、ふるさとだしの風まつりなど地域に根ざした多彩なイベントも多様で、特に政令指定都市新潟から身近で手頃な観光スポットとして親しまれ、年間100万人を超える人々が四季を通じて癒しと安らぎを求め来訪しています。

## 阿賀野市の「観光資源」とは!!

阿賀野市は、個性豊かな4か町村が平成16年4月1日に合併し、地域の宝である肥沃な大地に育まれた人々の心の豊かさや自然と歴史、文化に恵まれています。

市の代表的な観光資源は、日本有数のラジウム含有量を誇る村杉温泉に、県内最古の出湯温泉や今板温泉の三温泉からなる五頭温泉郷と白鳥を主とした20種類以上の水鳥が飛来する瓢湖です。

さらに市民のふれあいの場ともなっている六斎市、県政発祥の地越後府天朝山公園、水原代官所、越後七不思議の孝順寺や梅

康・保養プログラムの研究開発を行い、プロデュースによりブランド化を構築しダイレクトな情報発信を継続し、マーケットに存在価値の浸透を図っています。またより、行政・新潟県・国や関連機関等との連携の強化が最も重要課題です。

そのほか、水原まつり、ふるさとだしの風まつりなど地域に根ざした多彩なイベントも多様で、特に政令指定都市新潟から身近で手頃な観光スポットとして親しまれ、年間100万人を超える人々が四季を通じて癒しと安らぎを求め来訪しています。



水原代官所

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、毎月1日に新聞折り込みでお届けします。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

次回テーマも「観光振興」です。  
特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所

〒959-2221 阿賀野市保田 737-2  
TEL:68-5441 FAX:68-5515